

一武地区

区	質問タイトル	具体的内容	回答課	回答内容
9	遊水地について	当区では遊水地計画について多くの住民が反対の意思表示をしているところです。地区自体が大雨のたびに避難や大きな不安を抱えています。 また、候補地は最も優良な農地であり、耕作放棄地ありません。町としてもそのような住民の心情は充分理解されていると思いますが、改めてこの計画に対しての考えを聞かせていただきたい。	地域整備課	当区をはじめ2団体からの嘆願書及び反対署名の提出を受け、町としても反対する皆さまの思いを受け止め、当該区域が優良農地であることに鑑み、去る7月17日に九州地方整備局八代河川国道事務所に赴き、治水計画の再検討について要望書を提出いたしました。 今後、国としては、皆様のご意見を聴く場を設けたいとのことで、現在、その日程を詰めているところです。
9	郷土芸能の保存について	これまでに多くの郷土芸能が消滅し、残っているところもそうなりつつあると思われます。今後、これらをどのように保存・保護すべきか、またはしないのか伺います。	教育振興課	郷土芸能の保存及び継承については、太鼓等の道具の保存管理や後継者不足など多くの問題があることは承知しています。町が現在行っている取組として、郷土芸能継承保存育成補助金を町内の保存会に交付しています。金額は1団体当たり25,000円交付していますが、郷土芸能で使う道具の修繕更新等多額の経費を要する場合がありますので、今後はその支援について検討して参ります。 また、郷土芸能をお披露目する場として、企画観光課と連携し、毎年ふるさと祭りのステージで出演していただく機会を設けることとしています。郷土芸能は地域で古くから継承されてきた貴重な伝統行事でもありますので、町としても可能な限り支援していきたいと思います。
14	南部道路について	議会だよりから 町道狩政線の接続道路の拡幅計画予定有りとありましたが、南部道路は農道の位置づけより一般の主幹道としての活用で交通量も増加傾向にあるために、他の接続線の調査確認が行われ必要個所の拡幅の計画があるのでしょうか。	地域整備課	現在、町道錦南部線との接続路線改良を予定している箇所は狩政線のみで、他の路線についての計画はありません。 しかし、現在、通勤時間帯に広域農道から志戸内谷線へ流入する車両が増加している情報があり、南部道路全線開通後に、交通量調査を行い検討します。
14	いきいきサロン事業について	現行事業の企画運営はボランティアとキーパーソンで行われており、この方々も後期高齢者で後を継ぐ後継者がなくサロン事業そのものが衰退する恐れがあるために、地区社会福祉協議会組織を活用することで、後継者不足は解消されサロン事業は継続可能となると考えます。そのためには、行政の強力な支援指導が必要と思われますがいかがでしょうか。	保険政策課	町としても、現在、介護予防人材確保の取組を行っております。 令和5年度の実績は、介護予防に関するボランティア等の人材を育成するための介護予防サポーター研修を開催し、6名の受講がありました。 また、いきいきサロン等ボランティアポイント制度を実施しておりますが、その登録者（実働者）は131名という状況です。 現状は、一定数のキーパーソンおよびボランティアがいらっしゃいますので、当面サロン運営は可能と考えますが、ご指摘のとおり、後継者不足は課題の1つとして考えています。 今回ご提案いただいた案も後継者不足解消の1つとして検討させていただき、行政としても、錦町社会福祉協議会が主催で実施しておりますキーパーソン養成講座等への協力も含め、体制支援づくりに努めてまいります。

16	一般会計予算（歳入・歳出）について	①令和6年度歳入項目、雑収入の対前年比3,700万円となっている。その増加要因は何ですか。	総務課	広報錦7月号に掲載しました令和6年度6月補正時点での予算額の記事に関するご質問であろうかと思えます。歳入項目の諸収入が、対前年比3,700万円となっています。理由は、2つあります。 1つ目は、ただいま政府と全国の自治体が進めております自治体システムの標準化・統一化を進めるための経費に対して、地方自治体（県、市町村等）が共同運営している団体、正式には「地方公共団体情報システム機構」と言います。この団体から町に入るお金が、昨年度予算は約300万円に対し、今年度予算は約2,600万円を見込んでおり、差額2,300万円の増加となります。 2つ目は、新型コロナウイルス感染症ワクチン予防接種にかかる国からの助成金が、令和5年度までは、国（厚生労働省）から直接町に入っていましたので、国庫支出金のくくりで予算をあげてきました。令和6年度からは、国から直接ではなく「新薬・未承認薬等研究開発支援センター」という国のお金を管理する団体を経由して、町に入ってくる仕組みに見直されましたので、国庫支出金のくくりではなく、諸収入（雑入）のくくりで予算をあげております。こちらが約1,400万円になります。
		②あいねっと運営等で1,400万円計上。現在の導入家庭は錦町の総人口からして少ないと思います。今後、導入件数が増えれば運営費の金額は増・減どちらですか。	企画観光課	現在のあいねっと放送については、スマートフォン等のアプリによるものとタブレットによる配信を行っております。導入件数が増えた場合の運営費については、スマートフォン等アプリが増えた場合の増減はありませんが、タブレット端末は町からの貸与となりその購入費用等がかかってくるので増加することになります。そのため、スマートフォン等アプリのダウンロードを推進しております。
		③歳出議会費（8,000万円）の項目について、町議会運営のためとのことですが、議員報酬でしょうか。それであれば各議員の年間報酬額を公表すべきでは。	議会事務局	議会費の歳出予算は、全体で約8千万円です。 この予算には、議員報酬や手当を始め議会運営に関する様々な経費が積み上げられています。 予算の内訳の概要 議員報酬は、約3,400万円です。 期末手当（いわゆるボーナス）は、約760万円です。 毎月の報酬と年2回の期末手当合計で4,160万円です。（12人分の年額） その他の経費について 一般職員給与費は、職員2人分の人件費です。 一般事務費は、議場の設備費や議会運営のための経費として計上されているもので、いくつか例をあげますと、音響機器リース料や保守点検料、ペーパレス会議システムソフト使用料やタブレット機器通信費、会議録作成手数料、議会だより発行に係る経費などがあります。 議員報酬の公表について 議員報酬につきましては、町のホームページに錦町職員の給与や定員管理関係のデータの一部として公表されております。（担当：総務課） 公表内容 月額報酬 議長30万2,600円・副議長25万100円・議員22万7,300円 期末手当支給率 年額で2.4ヶ月分（いずれも令和5年4月1日現在）

16	職員のネームプレートについて	各職員が首から下げているネームプレートは各人の名前が記入されているにも関わらず名前がわからない。なぜ、左胸に表向きにみんな分かるように止めていないのでしょうか。	総務課	左胸に止める場合、ポケットがない服では、安全ピン等での固定が必要となります。 また、季節により上着の着脱もあるため、他の公共団体においても一般的なストラップ式の名札を使用しています。 現在、名札には、課名と名字のみ記載するようしており、きちんと見えるよう付けさせます。
16	ボランティア活動について	町からの声掛けで色々な奉仕作業を住民はしております。その作業当日に役場職員の出席は任意なののでしょうか。また、作業後、上席から確認はなされているのでしょうか。（各分館に役場職員が存在していれば、作業人数等の報告を役場にしなくてもよい）	総務課	奉仕作業については、ボランティア（任意）としており、確認までは行っておりませんが、当然、常日頃から、錦町の職員として地域活動には積極的に参加するよう呼びかけを行っております。
16	町政座談会について	この制度自体が必要なのでしょうか。町からの一方的な報告ならば文章でよいのでは。また、行政への意見なら各議員を利用したり、役場設置の意見箱を利用することもできるのでは。	住民福祉課	2年に1回開催していますが、事前質問や当日の質疑応答の機会を設けています。 議員さんを通しての質問もありますが、多くの機会を設定して町民の皆様のご意見を聞かせていただきます。 また、10/1の木上地区の座談会では、以前のように行政区毎、26区で開催して欲しいとの意見もございました。 今回も開催については、実施したが良いか検討しまして、いろいろな機会を設けて、町民の皆様の意見をお伺いすることにした経緯があります。
16	活気ある錦町のために	上席の人は、なぜ住民が来庁した時に率先して挨拶をしないのでしょうか。町民にもっと親しく笑顔を提供してくれることはできないのでしょうか。	総務課	来庁者に対し、親しみを持って頂けるよう、全職員が挨拶をするよう、より一層心掛けます。